

「かわさき市民祭り」で自衛隊の魅力発信

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 宮城英明・陸尉）は、11月3日（月）に川崎市の富士見公園一帯で開催された「第46回かわさき市民祭り」において、広報ブースを出展した。会場の川崎競輪場内には、陸上自衛隊第31普通科連隊の支援を受け、大型車両や炊事車、高機動車を展示し、多くの来場者の注目を集めた。

広報ブースでは、災害派遣活動を紹介するパネルや非常用糧食の展示に加え、「南極の氷」の展示や「ちびっ子迷彩服試着体験」などを行った。特に「南極の氷」は子どもたちに大人気で、手で触れた瞬間に歓声が上がリ、「どうやって運んできたの?」「どんな味がするの?」といった質問が相次いだ。また、「ちびっ子迷彩服試着体験」では、迷彩服姿で展示車両に乗り、記念写真を楽しむ家族連れの姿が見られるなど、会場は終日大いににぎわった。

川崎出張所は「今回のイベントを通じ、多くの方に自衛隊の活動を知っていただけた。今後も自衛隊への理解と関心を高め、採用につながる広報活動を継続していきたい」としている。



神奈川地本創立70周年記念行事を開催

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 大谷三穂1等海佐）は、11月7日（金）、ロイヤルホールヨコハマにおいて、中西健治衆議院議員、古川直季衆議院議員、三谷英弘衆議院議員、田中和徳衆議院議員、草間剛衆議院議員をはじめ、協力団体会員等287名の招待者をお迎えし、自衛隊神奈川地方協力本部創立70周年記念祝賀会を開催した。

本祝賀会は、自衛隊神奈川地方協力本部創立記念行事の一環として神奈川県自衛官募集相談委員会との共催により実施されたもので、日頃よりご支援いただいている関係者・協力者との親睦を深め、相互の連携を一層強化するとともに、部員の士気高揚と融和団結を図ることを目的とした。

当日は、募集・援護・予備自業務等、神奈川地本の業務推進に貢献された皆様への感謝状贈呈式（個人16名及び8団体）を実施した後、記念式典を肅々と挙行するとともに、東部方面総監や海上自衛隊の歌姫、ご三宅2曹からのビデオメッセージ上映、ミス神奈川2024の中西美月さんによるフルート演奏を取り入れた祝賀会食を実施し、盛況のうちに70周年記念行事を終えた。

神奈川地本は、「今後もあらゆる機会を捉えて協力団体等との絆を大切にし、任務に邁進していく」としている。

